

オペ室転職 失敗回避チェックリスト

手術室看護師向け | 転職前に確認したいことを、構造・面接・見学の視点から整理しました。

このチェックリストは、条件だけで転職先を決めてしまわないためのものです。給与や休日だけでなく、オンコール・教育体制・症例の幅・職場文化まで確認し、入職後のミスマッチを減らすことを目的としています。

1. まず最初に整理したいこと

自分が最優先で守りたいもの（生活・成長・人間関係・家庭事情・給与）を言える

『何となく今より良さそう』ではなく、転職理由を言語化できている

条件だけでなく、職場の構造や文化も確認するつもりでいる

2. 勤務と生活で確認すること

オンコールは月に何回あるかを確認した

呼び出し率や、呼び出し後の負担を確認した

明けの扱い、夜間・休日対応の体制を確認した

緊急手術の頻度と、予定手術とのバランスを確認した

平均的な退勤時間や残業の実態を確認した

3. 業務内容で確認すること

器械出しと外回りをどのように学ぶのか確認した

最初にどちらを中心に担当するのか確認した

将来的に両方を経験できるか確認した

どの診療科の手術が多いか確認した

症例が限定されすぎていないか、自分の希望と照らして考えた

4. 教育体制で確認すること

教育担当やプリセプター制度の有無を確認した

ひとり立ちまでのおおよその流れや期間を確認した

マニュアルや到達目標の有無を確認した

分からないことを聞きやすい雰囲気があるか見た

緊急対応の中でも教育が進められる体制か考えた

5. 文化・人間関係で確認すること

スタッフ同士の声かけがきつすぎないか見た

新人や若手への関わり方が高圧的すぎないか見た

質問したときの返し方や相談のしやすさを見た

見学者に対する対応が雑すぎないか見た

『少し引っかかる違和感』を流さずに持ち帰った

6. 面接で聞いておきたいこと

入職後の教育はどのように進むかを聞いた

器械出し・外回りの学び方を聞いた

オンコールの回数、新人が入る時期を聞いた

主な診療科、緊急手術の割合を聞いた

入職した人が最初につまずきやすい点を聞いた

覚えておきたいこと

オペ室転職は、条件だけで決まるものではありません。

『何を守りたいのか』『どんな環境で働くのか』を整理し、面接や見学で具体的に確認することが、失敗回避につながります。